

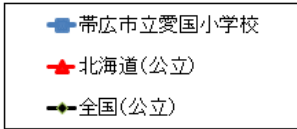
「愛国っ子」の学び 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果の概要

令和6年4月18日(木)に、全国の小学校第6学年児童を対象に実施した標記調査について、本校の結果の概要をお知らせいたします。今年度は、国語、算数の2教科と質問調査による実施でした。

(質問調査は4月24日にオンラインにて実施)

教科に関する調査

レーダーチャートの見方



算数

◎「円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る」こと、「簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理する」ことがよくできています。

▽「球の直径の長ささと立方体の一辺の長さの関係性を捉え、立方体の体積の求め方を式に表す」こと、「角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述する」ことに課題が見られました。

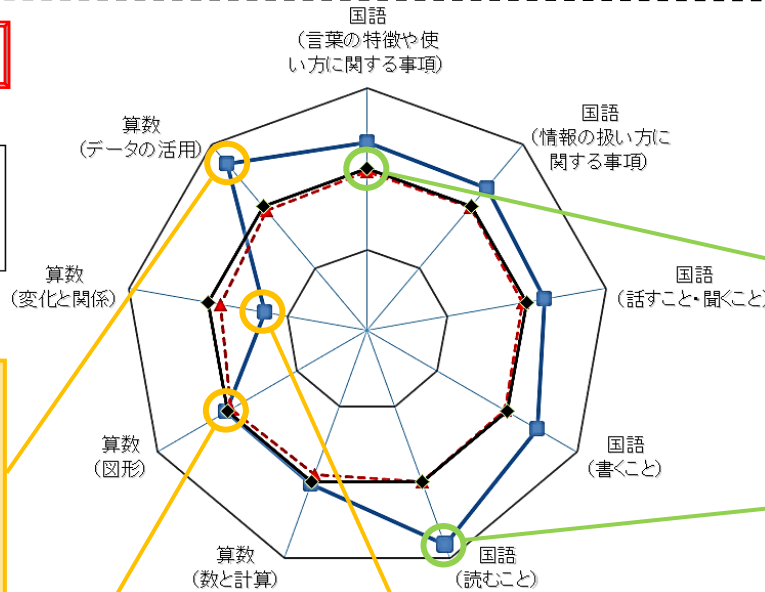
◎速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することがよくできています。

▽「道のりが等しい場合の速さについて時間を基に判断し、その理由を記述する」こと、「速さの意味について理解する」ことに課題が見られました。

国語

◎「漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる設問」の正答率は高いものの、「文の中における主語と述語との関係性を捉える」ことに課題が見られました。

◎「物語の登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える」こと、「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする」ことがよくできています。



国語・算数ともに無回答はなく、ねばり強く考える力が身についています。成果・課題が見られた単元や領域、各学年の学習内容について、系統立てた指導を充実させます。

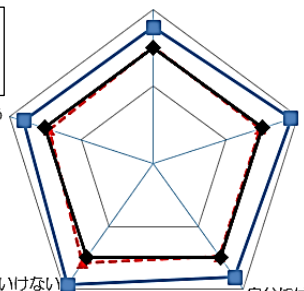
今後も、自分の考えを書いたり伝え合ったりする場面を設定し、書く力・話す力・聞く力を高めます。また、朝学習や朝の会、帰りの会でトークトレーニングに取り組むなど、あたたかく聞き合える雰囲気づくりも継続します。

児童質問紙より

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う

そう思う、どちらかと言えばそう思うと答えた児童の割合

学校に行くのは楽しいと思う



分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていると思う

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

自分には、よいところがあると思う

◎学校評価アンケートと同様に、「学校は楽しい」「自分にはよいところがある」「進んで学習に取り組んでいる」等、子どもたちが自らを肯定的にとらえ、前向きに過ごしていることがわかりました。

○家庭学習の習慣がついています。家庭学習の手引きを参考に、学年×10分+αを目安として、継続して取組を続けてほしいと思います。

今後も、子どもたちの更なる意欲を引き出しながら、教師から「教わる」授業から、自ら「学ぶ」授業への転換を図ります。

ご家庭におかれましては、引き続き、学習する時間帯を決めるなど、学びやすい環境づくりと励ましの言葉がけをお願いします。

全国学力・学習状況調査は、学校が指導の成果を確かめることにより、今後の課題を明確にし、児童一人一人に応じた指導方法の工夫・改善を図ることを主な目的としています。

本校では、調査を受けた児童の人数が少ないことから、各問題の結果をそのまま「学校の傾向」としていくことは難しいと考えます。したがって、共通して確認できる結果については、学校全体で共有し、よさを伸ばすことや課題解決に向けた授業改善を行います。また、引き続き、以下の3点について取り組みます。

- ①児童一人一人に応じた指導方法の工夫改善を図ります。
- ②家庭と連携し、家庭学習の習慣づけを図ります。
- ③帯広第七中学校区エリアの学校や地域と連携し、教育活動の充実を図ります。